



指導の展開例（小学校6年生の例）

- 本時のねらい：責任ある情報発信と相手を思いやる行動をとろうとする。
公共的な意識を高め、よりよい社会の実現に努める。

時間	学習活動	指導上のポイント
5 min	<p>1. 身近で起きたトラブルについて話し合う</p> <p>● 教師発問 人にいやなことを言われたり、いやな行動をとられたりしたことがありますか</p> <p>(予想される答え) ・悪口を言われた・ウザイと言われた・陰口を言われた ・無視されたことがある</p> <p>● 教師課題提示 電子掲示板の正しい使い方について考えてみましょう</p>	<p>● 日常生活の中で起こる友達とのトラブルに目を向ける。</p>
30 min	<p>2. ドラマを視聴し、啓太の気持ちについて考える</p> <p>(1) ドラマを視聴する (2) 啓太の気持ちを考える</p> <p>● 教師発問 裏サイトに自分のことが書かれていると知った啓太は、どんな気持ちだと思いますか</p> <p>(予想される答え) ・すごく、いやだ・不安だ・だれにも言えない ・家族に心配をかけたくない・友達を巻き込みたくない</p> <p>● 教師発問 削除された掲示板や新しく書き込まれた内容を見たときの啓太は、どんな気持ちだと思いますか</p> <p>(予想される答え) ・消されている・ありがとう・仲間がいてよかった (3) 掲示板に使い方について考える</p> <p>● 教師発問 掲示板に「書いてはいけない内容」と「書いててもよい内容」について考えましょう</p> <p>(予想される答え) <書いてはいけない内容> ・悪口・個人情報・事実と違うこと・人がいやな思いをすること <書いててもよい内容> ・褒める言葉・励ましの言葉・読む人の役に立つ情報 等</p>	<p>● インターネット上にある電子掲示板について考える ことを伝えてから、ドラマの本編だけを視聴する。 視聴後は、キーシーンを貼り、ストーリーを確認する。</p> <p>● 掲示板は、誰でも利用できることや裏サイトがあることを押さえる。</p> <p>● ワークシートに啓太の気持ちを記入させる。</p> <p>● 啓太は、なぜ、誰にも言えなかったのかについても話 し合わせる。</p> <p>● 心配する人には、家族、カナ、啓太の友達がいることを 押さえる。</p> <p>● ワークシートに啓太の気持ちを記入させる。</p> <p>● 心配してくれる人、支えてくれる人がいたことで啓太 は立ち直ることが出来たことを押さえる。</p> <p>● ワークシートに掲示板に「書いてはいけない内容」と 「書いててもよい内容」について記入させる。</p> <p>● 掲示板は、内容によって読み手の役に立つものもあれば、不快にさせたり、傷つけたりするものもあるこ とに気づかせる。</p> <p>● 「書いてはいけない内容」では、ネット社会は匿名ではないことや、啓太のように大人に相談することを押 さえる。</p>
10 min	<p>3.まとめを聞く</p> <p>(1) ドラマの「解説」(祖父誠一郎の解説)を見る</p> <p>● 教師発問 掲示板を使うときには、どのようなことに気をつけたらいいのでしょうか</p> <p>(2) 教師のまとめを聞く (3) 本時のふり返りを書く</p> <p>(予想される答え) ・責任をもって情報を発信していきたい ・ケータイ電話と上手に付き合っていきたい</p>	<p>● ワークシートにメモを取りながら、視聴する。</p> <p>● 「ネット社会は匿名ではない」や「大人や友達に相談 すること」をドラマから押える。</p> <p>● 情報社会やネット社会では、「相手の気持ちを考える」 「自分の発信に責任をもつ」「家族や友達と話し合う」 ことの大切さを確認する。</p> <p>● ケータイの問題は、使う私たちによって問題が起きる ことを押さえ、よりよく使っていこうとする気持ちを 高めて授業を終えるようにする。</p>